

中堅・中小企業におけるAIエージェントやノーコード開発ツールの導入社数シェア動向

調査設計/分析/執筆: 岩上由高

ノークリサーチ (本社〒160-0022東京都新宿区新宿2-13-10武蔵野ビル5階23号室 代表: 伊嶋謙二 TEL: 03-5361-7880 URL: www.norkresearch.co.jp) は中堅・中小市場におけるAIエージェント、ノーコード/ローコード開発ツール、RPAツールの導入済み/導入予定の社数シェアに関する調査を行い、その分析結果を発表した。本リリースは「2025年版 中堅・中小企業のITアプリ開発ツール利用実態と展望レポート」のサンプル/ダイジェストである。

<具体的な製品/サービスの社数シェアを俯瞰すると、ユーザ企業の考え方が見えてくる>

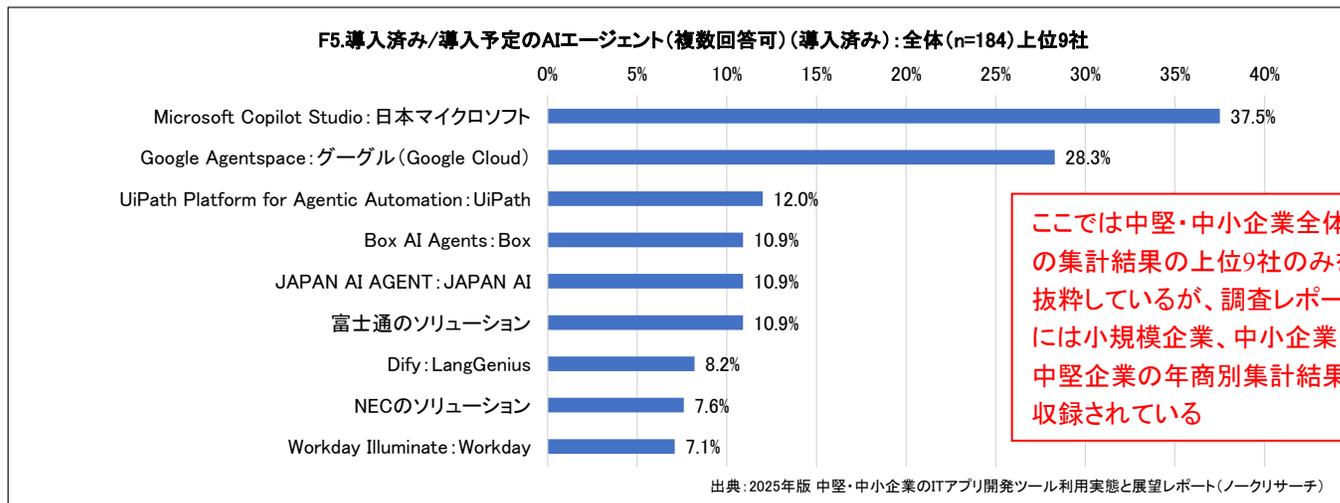
- AIエージェントの社数シェアでは「Microsoft Copilot Studio」と「Google Agentspace」が優位
- ローコード開発ツールを導入予定の中小企業では「kintone」や「Power Apps」がシェア上位
- 小規模企業層ではRPAツールにおける投資対効果の教訓によって、導入費用が抑制傾向

調査時期: 2025年7月～8月
 対象企業: 日本全国、全業種の年商500億円未満の中堅・中小企業1300社(有効回答件数、1社1レコード)
 対象職責: 情報システムの導入や運用/管理または製品/サービスの選定/決裁の権限を有する職責
 詳細については本リリースの4ページを参照

AIエージェントの社数シェアでは「Microsoft Copilot Studio」と「Google Agentspace」が優位

本リリースの元となる調査レポート「2025年版 中堅・中小企業のITアプリ開発ツール利用実態と展望レポート」では、有効回答1300社のユーザ企業を対象にAIエージェント、ノーコード開発ツール、ローコード開発ツール、RPAツールの導入状況を集計/分析している。

以下のグラフは「AIエージェントを導入済み」と回答したユーザ企業に対して導入済み/導入予定の具体的なAIエージェントの製品/サービス名を尋ねた結果のうち、中堅・中小企業全体の上位9社を示した結果である。(集計対象となった全ての製品/サービスの一覧は右記の調査レポート案内を参照 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2025DevTool_rep.pdf)



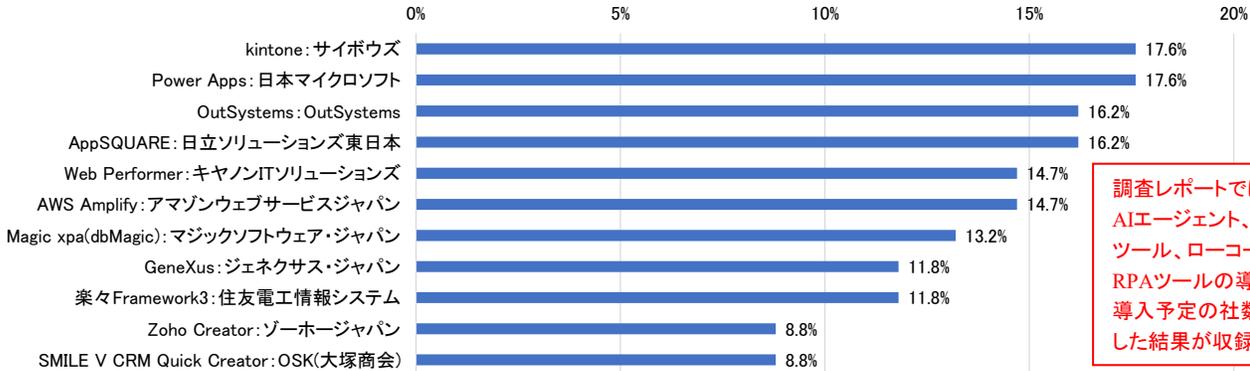
AIエージェント市場はまだ黎明期であり、RPAツールやノーコード/ローコード開発ツールと比べると導入割合も低い。とはいえ、現段階でどのような製品/サービスが社数シェアの上位に位置しているか?を確認しておくことも大切だ。AIエージェントは大手のクラウド事業者やベンダが提供する汎用的なもの、業務アプリケーションに組み込まれたもの、特定の用途に特化したもの、ソリューションとして提供されているものなど多岐に渡る。グラフが示すように、その中でも社数シェア上位に位置しているのが「Microsoft Copilot Studio」と「Google Agentspace」である。この結果を踏まえると、現段階のAIエージェントは個々の従業員がメールや文書をやりとりする際の作業工程を効率化する場面で比較的多く利用されていると考えられる。しかし、上位9社にはUiPath(RPAの発展としてのアプローチ)やWorkday(業務アプリからのアプローチ)なども見られるため、様々な出自のIT企業が混在する状況になっていくと予想される。

ローコード開発ツールを導入予定の中小企業では「kintone」や「Power Apps」がシェア上位

本リリースの元となる調査レポートでは、AIエージェント、ノーコード開発ツール、ローコード開発ツール、RPAツールについて導入済み(=現状)だけでなく導入予定(=今後)の状況についても集計/分析を行っている。

例えば、以下の2つのグラフは「ローコード開発ツールを導入予定」と回答したユーザ企業に対して、導入済み/導入予定のノーコード/ローコード開発ツールを尋ねた結果の上位に位置する製品/サービスを集計したものだ。上段グラフが中小企業層(年商5~50億円)、下段グラフが中堅企業層(年商50~500億円)における集計結果である。(集計対象となった全ての製品/サービスの一覧は右記の調査レポート案内を参照 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2025DevTool_rep.pdf)

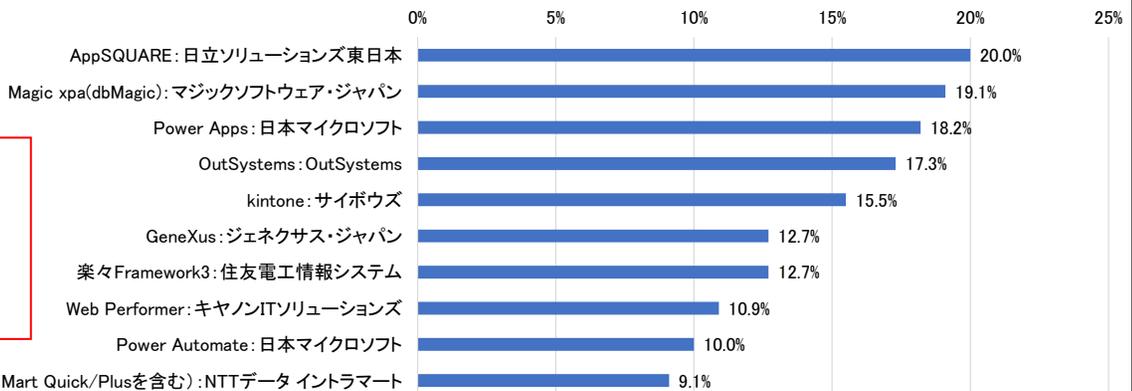
F4.導入済み/導入予定のノーコード/ローコード開発ツール(複数回答可)(ローコード導入予定):中小企業層(n=68)上位11社



調査レポートでは年商規模別にAIエージェント、ノーコード開発ツール、ローコード開発ツール、RPAツールの導入済みおよび導入予定の社数シェアを集計した結果が収録されている

出典: 2025年版 中堅・中小企業のITアプリ開発ツール利用実態と展望レポート(ノークリサーチ)

F4.導入済み/導入予定のノーコード/ローコード開発ツール(複数回答可)(ローコード導入予定):中堅企業層(n=110)上位10社



調査レポートでは年商規模別にAIエージェント、ノーコード開発ツール、ローコード開発ツール、RPAツールの導入済みおよび導入予定の社数シェアを集計した結果が収録されている

出典: 2025年版 中堅・中小企業のITアプリ開発ツール利用実態と展望レポート(ノークリサーチ)

ここで注目すべき点は「ローコード開発ツールを導入予定」のユーザ企業に尋ねた結果にも関わらず、中小企業層(上段のグラフ)では「kintone」や「Power Apps」といったノーコード開発ツールに近い製品/サービスが中堅企業層(下段のグラフ)と比べて上位に位置している点だ。本リリースの元となる調査レポートの他のリリース(※)でも触れているように、ローコード開発ツールを導入済みのユーザ企業ではノーコード開発ツールの導入割合も高くなっている。(その逆は当てはまらない)

※ https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2025DevTool_rel2.pdf

上記の結果を踏まえると、中小企業層における今後の導入予定ではローコード開発ツールの活用と並行してノーコード開発ツールの利用も進んでいく可能性がある。中小企業層は中堅企業層と比べてシステム開発に投じることのできる人員や予算も限られる。そのため、ノーコードで補完できる部分については「kintone」や「Power Apps」といった比較的手軽で安価な手段を選ぼうとしていると考えられる。あるいは、中小企業層にとっては上記のような製品/サービスでも完全なノーコードではなく、ローコードのツールと捉えている可能性もある。いずれにせよ、画面や簡単なデータストアの作成はノーコードだったとしても他システムとの連携ではコーディングが必要となる場面も少なくない。特にデータ同期/転送のタイミングや書式の整形/変換などは運用が始まるまで、問題が表面化しないこともある。ローコード開発ツールとノーコード開発ツールの併用においてはこうした点にも留意しておく必要がある。

小規模企業層ではRPAツールにおける投資対効果の教訓によって、導入費用が抑制傾向

さらに本リリースの元となる調査レポートでは、中堅・中小企業がAIエージェント、ノーコード開発ツール、ローコード開発ツール、RPAツールといったITアプリ開発ツールに拠出する導入費用についても集計/分析している。

ここでの「導入費用」とはITアプリ開発ツールの導入に要する以下の費用の合計額を指す。

パッケージの場合： パッケージ購入費用、ミドルウェア購入費用、パッケージの初期設定費用、カスタマイズ費用（カスタマイズしている場合）の総額

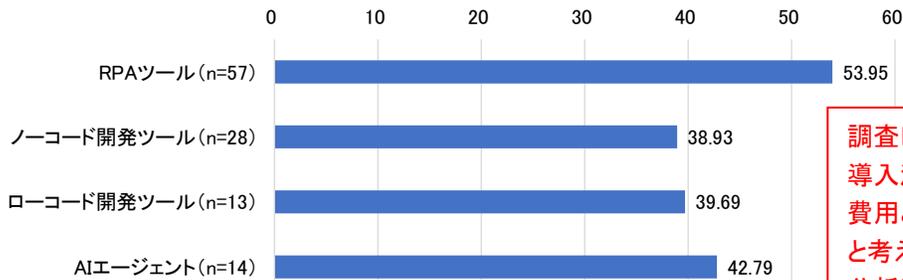
SaaSの場合： サービス初期費用、サービスの初期設定費用、カスタマイズ費用（カスタマイズしている場合）の総額

独自開発の場合： 独自開発費用、ミドルウェア購入費用、独自開発システムの初期設定費用の総額

「導入費用」にはハードウェアとOSに関する初期費用（購入費用、初期設定費用など）は含まず、導入済みの場合は実際に要した費用、導入予定の場合は予定している費用を数値（万円）で回答する。これにより、中堅・中小企業がITアプリ開発ツールに対してどれくらいの費用を拠出したか？または今後拠出する予定なのか？を知ることができる。

以下のグラフはAIエージェント、ノーコード開発ツール、ローコード開発ツール、RPAツールを導入済みであると回答したユーザ企業に対して、ITアプリ開発ツールに実際に拠出した費用（万円）を尋ねた結果である。上段のグラフは小規模企業層（年商5億円未満）、下段のグラフは中小企業層（年商5～50億円）における集計結果となっている。

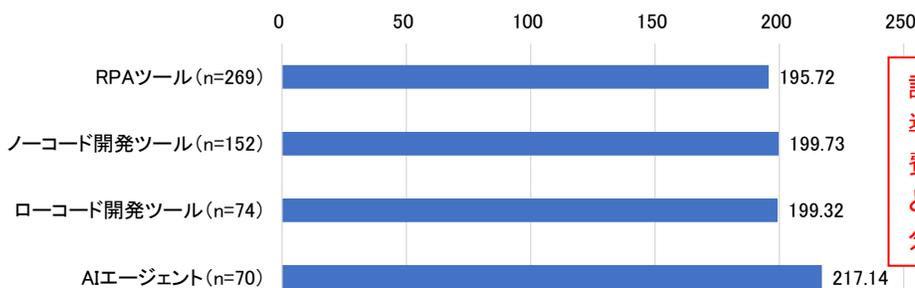
F8.ITアプリ開発ツールに拠出可能な導入費用（万円）
導入済み：小規模企業層



出典：2025年版 中堅・中小企業のITアプリ開発ツール利用実態と展望レポート（ノークリサーチ）

調査レポートでは、ITアプリ開発ツールを導入済みのユーザ企業が実際に拠出した費用と導入予定のユーザ企業が拠出可能と考える費用の双方を年商規模別に集計/分析している

F8.ITアプリ開発ツールに拠出可能な導入費用（万円）
導入済み：中小企業層



出典：2025年版 中堅・中小企業のITアプリ開発ツール利用実態と展望レポート（ノークリサーチ）

調査レポートでは、ITアプリ開発ツールを導入済みのユーザ企業が実際に拠出した費用と導入予定のユーザ企業が拠出可能と考える費用の双方を年商規模別に集計/分析している

当然ながら、全体的な金額は小規模企業層と比べて中小企業層の方が高くなっている。ただし、小規模企業層ではRPAツールと比べて他のITアプリ開発ツールの金額が低くなっている点に注意が必要だ。RPAツールは自動化の手段として注目されたが、小規模企業層にとってはやや価格が高く、投資対効果が課題となっていた。こうした教訓を踏まえて、ノーコード/ローコード開発ツールやAIエージェントについては小規模企業層が拠出できる費用が抑制されていると考えられる。

次頁では本リリースの元となる調査レポートの概要を掲載している。

本リリースの元となる調査レポート

『2025年版 中堅・中小企業のITアプリ開発ツール利用実態と展望レポート』

中堅・中小のユーザ企業を対象とした有効回答1300社の調査を実施し、RPA、ノーコード/ローコード開発ツール、AIエージェントの導入済み/導入予定の状況を年商別および10分野の業務アプリケーション分野毎に集計/分析、さらにユーザ企業とIT企業の双方におけるツール活用の課題やニーズも網羅。

【対象企業属性】(有効回答件数:1300社、調査実施期間:2025年7月～8月)

年商:	5億円未満 / 5億円以上～10億円未満 / 10億円以上～20億円未満 / 20億円以上～50億円未満 / 50億円以上～100億円未満 / 100億円以上～300億円未満 / 300億円以上～500億円未満
従業員数:	10人未満 / 10人以上～20人未満 / 20人以上～50人未満 / 50人以上～100人未満 / 100人以上～300人未満 / 300人以上～500人未満 / 500人以上～1,000人未満 / 1,000人以上～3,000人未満 / 3,000人以上～5,000人未満 / 5,000人以上
業種:	組立製造業 / 加工製造業 / 建設業 / 卸売業 / 小売業 / 流通業(運輸業) / IT関連サービス業 / 一般サービス業 / その他:
地域:	北海道地方 / 東北地方 / 関東地方 / 北陸地方 / 中部地方 / 近畿地方 / 中国地方 / 四国地方 / 九州・沖縄地方
その他の属性:	「IT管理/運用の人員規模」(12区分)、「ビジネス拠点の状況」(5区分)、「IT活用に関わる職責」(2区分)

【分析サマリ(調査結果の重要ポイントを述べたPDFドキュメント)の概要】

第1章: RPA、ノーコード/ローコード開発ツール、AIエージェントの導入済み割合

中堅・中小企業におけるRPA、ノーコード開発ツール、ローコード開発ツール、AIエージェントの導入済み割合を年商別や適用対象となる10分野の業務アプリケーション毎に集計/分析

第2章: RPA、ノーコード/ローコード開発ツール、AIエージェントの導入予定割合

中堅・中小企業におけるRPA、ノーコード開発ツール、ローコード開発ツール、AIエージェントの今後の導入予定を年商別や適用対象となる10分野の業務アプリケーション毎に集計/分析

第3章: RPA、ノーコード/ローコード開発ツール、AIエージェントの導入済み/導入予定の社数シェア

RPA、ノーコード開発ツール、ローコード開発ツール、AIエージェントの4つの区分について、導入済み/導入予定の社数シェアを年商別に集計

第4章: ユーザ企業から見たRPA、ノーコード/ローコード開発ツール、AIエージェントを活用する際の課題とニーズ

ユーザ企業がRPA、ノーコード開発ツール、ローコード開発ツール、AIエージェントを活用する際に顕著に見られる課題やニーズを集計/分析

第5章: IT企業から見たRPA、ノーコード/ローコード開発ツール、AIエージェントを活用する際の課題とニーズ

IT企業自身がRPA、ノーコード開発ツール、ローコード開発ツール、AIエージェントを活用する際に顕著に見られる課題やニーズを集計/分析

第6章: RPA、ノーコード/ローコード開発ツール、AIエージェントの導入費用

RPA、ノーコード開発ツール、ローコード開発ツール、AIエージェントを導入済み/導入予定のユーザ企業がITアプリ開発ツールに対して拠出可能な費用を尋ねた結果を集計/分析

【発刊日】2026年3月30日 【価格】225,000円(税別)

【調査レポート案内】https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2025DevTool_rep.pdf

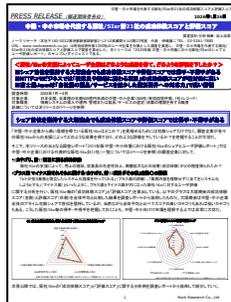
次頁では、既刊の調査レポートや市場調査データを活用した各種の関連サービスをご紹介します

ご好評いただいている既刊の調査レポート(1/2):

2025年版 中堅・中小市場における販社/SIerのシェアとユーザ評価レポート

中堅・中小市場で注目すべき販社/SIerの導入社数シェア(年商別/業種別/地域別)、商材ポートフォリオ、顧客企業が得た成功体験、顧客企業から見たプラス/マイナス評価を集計/分析、さらにAI活用、ユーザ内製、伴走型SI/共創型SIへのシフトなどに関するIT企業側の実態と考え方も網羅。

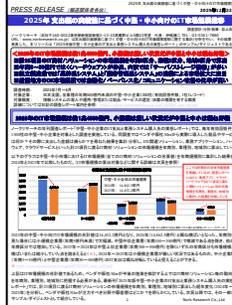
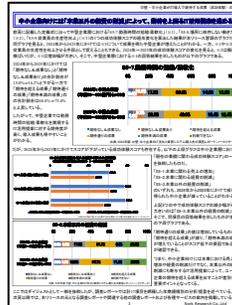
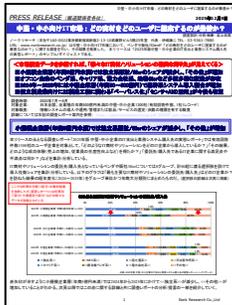
【レポート案内】 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2025SIer_user_rep.pdf



2025年版 中堅・中小企業のIT支出と業務システム購入先の実態レポート

中堅・中小企業は「どんなIT商材/ソリューションをどのIT企業から導入するのか?」「それで得られた成功体験(売上増、従業員の生産性向上など)は何か?」「委託先/購入先のIT企業に関する満足点や不満点は何か?」を集計/分析し、今後有望なIT商材/ソリューションやユーザ企業セグメント(年商や業種)を提言

【レポート案内】 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2025SP_user_rep.pdf



2025年版 中堅・中小企業のセキュリティ/運用管理/バックアップ利用実態と展望レポート

ランサムウェア対策や経済安全保障の取り組みが急務となる中、2024~2025年の経年変化に基づいて導入社数シェア、実施状況、課題、ニーズを集計/分析。

【レポート案内】 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2025Sec_user_rep.pdf

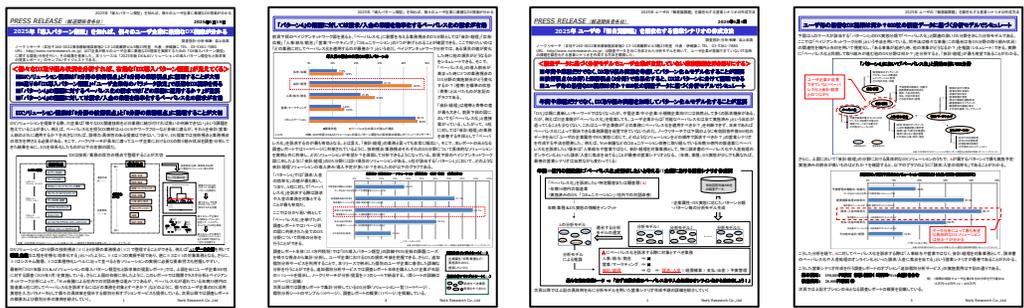


ご好評いただいている既刊の調査レポート(2/2):

2025年版 DX&AIソリューションの導入パターン類型化と訴求策の提言レポート

DXソリューションを技術視点(9分野/48項目)&業務視点(8分野/38項目)に基づく導入パターン類型に整理し、個別分析サービス(オプション)による個々のユーザ企業向けDX提案の施策/提言までカバーした次世代型の調査レポート。生成AIのサービスシェア、適用場面、ユーザ企業の課題/ニーズ、導入費用も網羅。

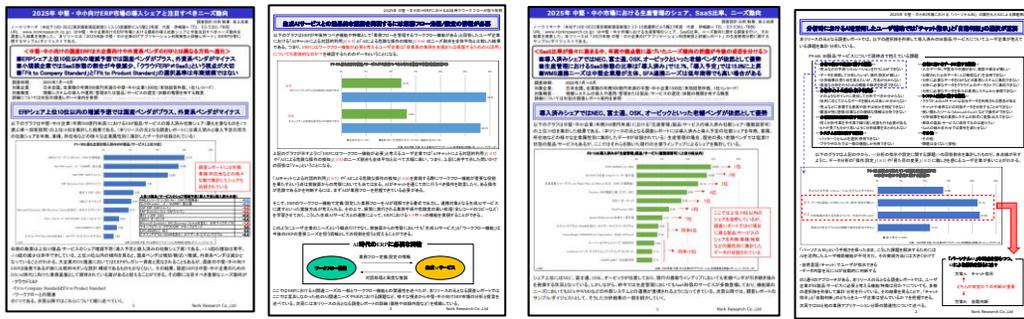
【レポート案内】 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2025DXAI_user_rep.pdf



2025年版 中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート

ERP、会計、販売、人事給与、グループウェア、CRM、BIなど計10分野に渡る業務アプリケーションの導入済み/導入予定の社数シェア、導入年、運用形態(オンプレミス/クラウド)、課題、ニーズを年商別や業種別などの多角的な視点から集計/分析

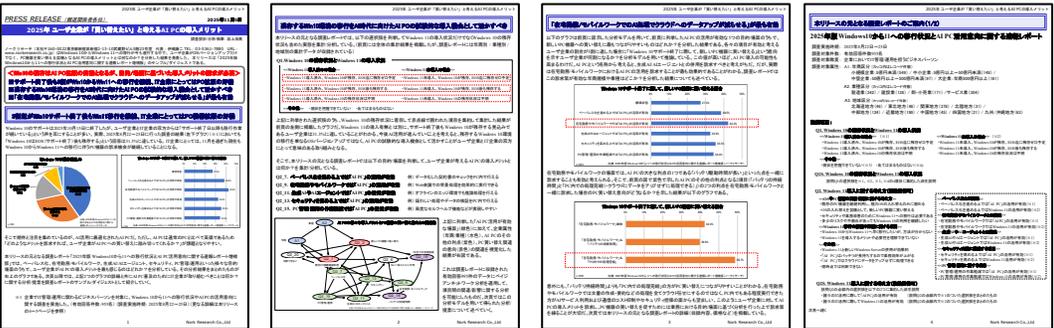
【レポート案内】 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2025itapp_rep.pdf



2025年版 Windows 10から11への移行状況とAI PC活用意向に関する速報レポート増補版

セキュリティ対策のためのOS刷新だけでなく、AI PCのメリットを活かしたポジティブなPC環境を提案するための施策を提言

【レポート案内】 https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2025PCflash_relex.pdf

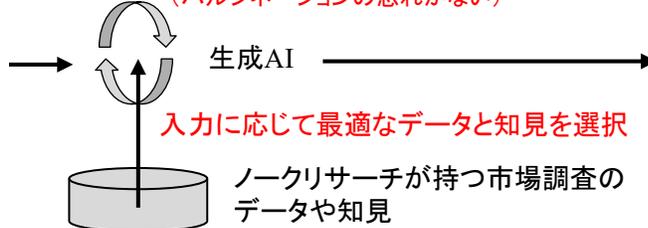


各種の関連サービス

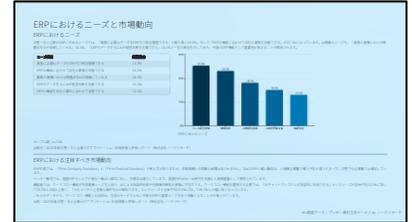
入力された企画案や販促アピールを元に、ノークリサーチの市場調査データや知見が盛り込まれたPPTX資料を自動生成

AI×市場データ：プレゼン資料生成サービス

製品/サービスの企画案や
アピールをブラウザで入力



実績のある市場調査のデータ
や知見を組み込んだプレゼン
資料を自動生成



事例で分かるサービス紹介動画：

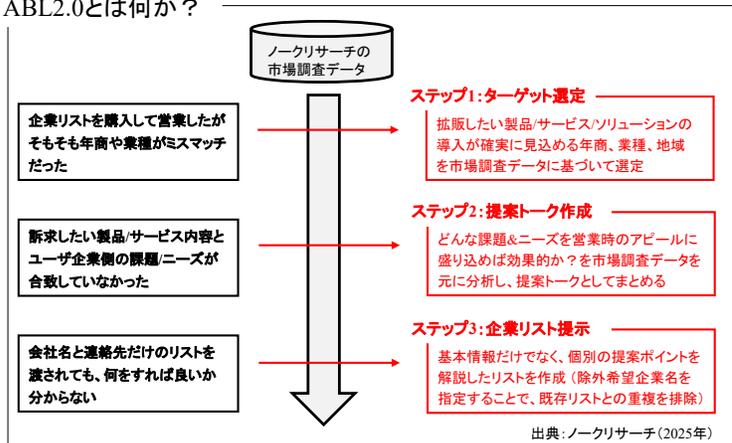
https://www.norkresearch.co.jp/result/pmc_movie_lg.mp4

サービス詳細と無償のお試し版：

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2026pmc_rel1.pdf

市場調査データを元にターゲット選定/提案トーク作成/企業リスト提示を行う『ABL2.0』

ABL2.0とは何か？



出典：ノークリサーチ(2025年)

サービス案内と実施の具体例を以下でご覧いただけます。

https://www.norkresearch.co.jp/pdf/2025ABL20_rel.pdf

ターゲットに沿った提案トークを含む企業リストの具体例

企業名	株式会社DEスタイル
設立年	1964年
資本金	5億円
売上高	45億円(2025年1月期)
決算月	1月
従業員数	436名(2025年2月現在)
上場有無	未上場
所在地	大阪府大阪市**区**町 1-1-1
ホームページ	https://www.destyle.**.**
メールアドレス	info@destyle.**.**
Webフォーム	https://www.destyle.**.**/contact.html
電話番号	06-****-****
業態と特徴	衣料素材の卸問屋として創業し、近年ではアパレルの企画/開発/生産/販売を一気通貫で担うビジネスを展開。試作品段階では3Dモデリングを積極的に活用するなど、DXやSDGsに対する意識が高い。 参照ページ： https://www.destyle.**.**/profile.html
提案時のポイント	「AI需要予測を用いた在庫管理ソリューション」の提案トーク解決が有効な課題： C.1: 仕入先の倒産リスク C.2: 勤や経験による管理関連性の高いニーズ： D.3: センサによる入庫記録 DXへの取り組みが進んでいるため、C.2の課題は既にクリアされており、D.3についても既に着手済みの可能性が高い。素材の調達先には海外企業も多いため、地政学的な情報も含めてC.1を分析できるソリューションを提示することが有効。

本リリースの無断引用・転載を禁じます。引用・転載をご希望の場合は下記をご参照の上、担当窓口にお問い合わせください。

引用・転載のポリシー：<https://www.norkresearch.co.jp/policy/index.html>

本リリースに関するお問い合わせ

株式会社 ノークリサーチ 担当：岩上 由高
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-13-10 武蔵野ビル5階23号室
TEL 03-5361-7880 FAX 03-5361-7881
Mail: inform@norkresearch.co.jp
Web: www.norkresearch.co.jp

NORK RESEARCH